

【緑地を楽しむ本】

『うんこ虫を追え』

たくさんのふしぎ 2022年6月号（第447号）

館野鴻 文・絵 福音館書店



西緑地に動物の糞は落ちているでしょうか？犬の糞さえないかもしれませんね。

そうすると、この本に出てくるオオセンチコガネやセンチコガネはいないかも知れません。いてほしいのですが。

この本は1人の画家のおじさんが、主にオオセンチコガネの卵から成虫になるまでを苦労して追いかけた記録です。オオセンチコガネは動物のフンを地下の産卵場所に詰め込み、幼虫はフンを餌に成虫になるという事はわかって

いますが、細かいことは分かっていませんでした。ファーブル昆虫記のセンチコガネについての記述を参考に、追及に着手します。

何回もの失敗ののち、卵や幼虫を見つけますが、間もなく死んでしまいます。色々考え、工夫して、ついにオオセンチコガネの羽化を見届けることができました。でも、おじさんの追及はまだまだ続きます。

「ひとつの虫のくらしを追うことは、その虫がそこにいるために欠かすことのできない関係や歴史を探ることにつながる」と作者は書いています。小さな虫でもじっくり観察すると、それまで知らなかった新しい世界が見えてくると。

（齋藤好子）